

SENom Sugaring (セノマ・シュガーリング)



妊娠中・アレルギー体質・敏感肌など、お肌と心に優しい脱毛です。

サロン公式Instagram



@SENOMA.SUGARING.FUKUOKA

代表 平島ともみ

広川町大字新代

☎ 080-1780-3955

設立 / 令和5年7月

事業内容 / シュガーリング脱毛・マシン脱毛

創業のきっかけ

自身の産後トラブルの経験から、女性の体、メンタルケア・マタニティケアなどに興味を持ち、シュガーリングに出会いました。これからは女性の健康や体のケアを通じて「頑張る女性の活力になる場所を作りたい」と約2年間の学びを経て「誰もがあきらめなくて良い脱毛」をテーマに、九州初の女性専用シュガーリングサロンをオープンしました。

創業塾で学んだこと・創業補助金の活用

事業計画や補助金など、これまで会社員で働いてきた私は、どれも初めて耳にする言葉ばかりでした。しかし創業塾で経営の基本から学び、さまざまなことを理解できました。創業補助金についても申請方法など丁寧に教えてもらい助かりました。

今後の展望

VIO脱毛は多くの人に浸透していますが、なかには敏感肌・アトピー・アレルギー・妊娠中などさまざまな理由で出来ない人もいます。そんな人の受け皿になれば……とシュガーリングにこだわってきました。現在、町内や県外、遠くは海外からのお客さまにも来店いただけるようになりました。今後は、もっとマタニティ期の人にシュガーリングを広めていきます。そして、女性特有の肌悩み改善と脱毛のゴールに向けハーブピーリングと光脱毛を導入し、結果を出せるサロンとしてお客さまに合ったサービスを届けます。



を届けてください！

広報紙を読んだ感想や今後取り上げてほしい記事、広川町への思い、町に対する質問・意見・提案などをお送りください。イラストや写真も大歓迎です。

問企画課企画係

☎ 0943-32-1196

必須 担当課からの回答を希望するか、希望しないか、以下のいずれかを○で囲んでください

希望する ・ 希望しない

名前 (回答を希望する場合は **必須**)
フリガナ

住所 (回答を希望する場合は **必須**)
〒 -

電話番号 (回答を希望する場合は **必須**)
() -

年齢 **任意**

性別

郵便はがき

〒 834-8790

<受取人>

日本郵便株式会社
広川郵便局私書箱第3号

広川町長 行



今月号の良かった記事とその理由を教えてください

料金受取人払郵便

八女局承認

455

差出有効期限
令和8年7月
24日(切手不要)

みんなで守る、みんなの命

～ 人権意識を高め、「共助」の意識を高める ～

☎生涯学習課人権・同和教育係 ☎0943-32-0093

人々の生活と心に大きな爪痕を残した自然災害

今年8月8日、宮崎県で震度6弱の揺れを観測しました。気象庁は、南海トラフ地震の想定震源域で大規模地震が発生する可能性が高まっているとして「臨時情報」を発表。引き続き巨大地震への注意と対策が必要です。

平成23年3月11日に発生した「東日本大震災」は、地震や津波の発生により多くの命が奪われる大災害となりました。福島第一原子力発電所事故により、周辺住民の避難指示が出されるなど、未だに多くの人が避難生活を余儀なくされています。平成28年4月14日に発生した「熊本大地震」も大きな被害が発生し、多くの人が避難生活を余儀なくされました。

災害で顕在化した人権問題

避難生活の中で、高齢者や障がい者、女性などに対して配慮に欠いた事例が報告されています。ほかにも、福島第

一原子力発電所事故による放射能汚染の風評被害など、災害時における人権問題が顕在化しました。これは災害時、被災したすべての人に人権被害が起る危険性があるということです。特に高齢者や障がい者、乳幼児、妊産婦、外国人などの「避難行動要支援者」の立場にある人に起きやすいといわれています。この「避難行動要支援者」への対応は、今後の大きな課題です。

自助・共助・公助とは？

①自助（じじょ）

「自分の命は自分で守ることを意味します。日ごろから防災意識の向上を図り、災害に備えることが大切です。」

②共助（きょうじょ）

「家族だけでなく、隣近所や地域コミュニティ単位で助け合う体制を構築し、災害発生時に助け合うこと」を意味します。避難者の生活再建には、円滑な避難行動と避難所の運営が欠かせません。地域の人とコミュニケーションをとり、

普段から助け合う関係性を築いておくことが、有事の際に大きな力を発揮します。

③公助（こうじょ）

「国や地方自治体などの行政機関による救助・支援」を意味します。災害発生前に行われる防災対策と、災害発生後に行われる救助など、事前と事後の対応に分かれます。

人権意識と共助の関係性

人権意識を高めることは、人権問題の解決のみならず、「共助」の意識を高めることにもつながります。大切な命を守るため「自助・共助・公助」について考えておきましょう。いざ災害が発生したとき、「共助」が多くの命を救うことにつながります。

【震災時における人権課題】

「避難行動要支援者」の人権

- ・**高齢者**
災害発生時に瞬時的な判断や行動がとれないため、支援が必要な人がいる
- ・**障がい者**
障がいの状況により、支援が必要な人がいる
- ・**妊産婦、乳幼児**
妊産婦への配慮不足、授乳や育児スペースが確保されない
- ・**外国人(旅行者)**
日本語が不慣れな場合、情報が伝わらないため混乱する



避難所での人権

- ・**女性に対する人権**
暴力や性的な嫌がらせ
- ・**子どもに対する人権**
慣れない避難所生活によるストレス
- ・**さまざまな人権課題**
プライバシーの確保が難しい

避難所外での人権

- ・被災した自宅や自動車などで、避難生活を余儀なくされる人がいる

風評被害やいじめ

- ・被災地外へ避難した人が偏見の目で見られるなどの差別を受けている

人権尊重の意識を持ちましょう

- ・さまざまな立場の避難者への配慮
- ・避難者同士で十分なコミュニケーションをとり物事を決めるなど